

芸亭

うん てい

Nara Prefectural Library and Information Center

奈良県立図書情報館

vol.16-17
合併号

「BOOK, TRAIL 本を通じてきく、あなたの旅の話 Vol.3」参加者同士の語り合いにて 撮影：大越はじめ

この国の国語感覚

奈良県立図書情報館館長 千田 稔

最近、しきりと不安感をおぼえるのは、日本語のこれまでにない乱れ方である。カタカナが外国語表記に便宜的に使うことができることから、十分に意味を解さないまま外国語の発音のまま日本語に取り込まれてしまう。その便宜性のために近年のグローバル化時代の日本語は、カタカナの花盛りである。

「彼のペーパーはオリジナル性があり、アピール度がハイレベルだから、ミーティングにはウエルカムだよ」。こんな日本語を真顔で話す研究者は決して少なくない。

外国語の発音に似せて発音し、あるいはカタカナで表記して事足りりとする傾向が、強くなりつつある。外国語が表す物の本質ではなく発音をそのまま受け取り、言語体系に組み込む。幼児が親から言語を習得するのと同じ原理なのだ。サッカーやバレーボールの言葉の由来に、あるいは大リーグのドジャースやダイヤモンドバックスの意味に無関心である。知らなくても野球を楽しめばよいのだと開き直すその前にベースボールを野球と訳した正岡子規の言語感覚にあらためて敬意を払ってはどうか。

中国ではテレビ(ジョン)を电视と表記する。国立国語研究所名誉所員・宮島達夫氏によると、今日の中国の电视につながるかは不明であるが、电视という表現は、1928年ころに日本で創られたという。テレグラムを電信、テレフォンを電話と訳したのと同じ意味合いをもたせたのであろう。外来の言葉を日本語に訳することによって実体と言葉を一体化しようとするまともな時代がこの国にもあったのだ。外国語のカタカナ表記依存は文化の無国籍化を促し、この国の足場をぐらつかせている。行方知らずに浮遊するこの国の危うい状況であっても、人は「フューチャーはハッピー」と叫ぶのか。

題字：天理大学附属天理図書館蔵「石上宅嗣卿顕彰碑」より

Contents

巻頭言
この国の国語感覚

1

光を当てる、光が当たる

2~10

オンラインコンテンツ

11

図書情報館
設備のリニューアル
2023・2024年度

12

2023年度の
イベントと展示

13~16

2024年度の
イベントと展示

17~20

光を当てる、光が当たる

2023・2024 年度も様々なテーマで、新たな角度から本を知る企画を開催しました。



🎀 ～ 2023 年度 図書企画展～ 🐼

○ 韓国文学への旅 現代韓国文学とその周辺

■ 2023 年 5 月 23 日～ 7 月 27 日

70 年代以降の韓国の文学作品、言語や文化を紹介する図書の展示のほか、コンサートやトークなどの関連イベントも通じて韓国の文学・文化を知りきっかけとなることを目指し企画しました。韓国文学の編集者お二人によるトークは、「韓国文学の流れを俯瞰」「自身と韓国文学とのつながり」という全く違う切り口から韓国文学に迫る内容でした。

関連イベント

■ 6 月 4 日

コンサート「Groovin' K!～韓国伝統音楽のリズム、その躍動感の秘密に迫る！」

■ 5 月 26 日～ 27 日、6 月 24 日～ 25 日

「Groovin' K! (K-BOOK)」

5 月 26 日 プレトーク “現代韓国文学の今”

ゲスト：斉藤 典貴（編集者・亜紀書房）

5 月 27 日 ブックフェア

6 月 24 日 プレトーク “「知らない」からはじまる”

ゲスト：アサノタカオ（編集者・サウダージ・ブックス）

6 月 25 日 ブックフェア



コンサートの様子



○ 来日 100 周年記念 アインシュタインの日本講演旅行

■ 2023 年 7 月 11 日～ 8 月 20 日

物理学者のアインシュタインは講演のため、1922 年に初めて日本を訪れました。1 ヶ月以上あった滞在期間の中で奈良も訪れています。展示では関連する図書だけではなく、ドイツ連邦共和国大使館制作のアインシュタインの日本講演旅行をたどるパネルや、奈良ホテルから提供していただいた奈良を訪れた際の写真等も使用しました。また、来日した当時の新聞記事の複製も展示するなど、様々な角度からアインシュタインと日本講演旅行を知ることのできる展示となりました。



○ 星を映し出してから 100 年

■ 2023 年 7 月 29 日～ 8 月 27 日

2023 年は近代的なプラネタリウムが発明されて 100 年の節目。日本では 1937 年に現在の大阪市立科学館に日本初のプラネタリウムが設置されました。当館では、大阪市立科学館をはじめ、奈良市および近隣府県のプラネタリウムのある施設にご協力いただき、実際に行われているプラネタリウムのプログラムの案内や、そのプログラムをより深く知ることのできる図書を用意。図書館内だけに留まらず、他の施設への架け橋になるような展示を行うことができたのではないかと思います。



○ ペソアの歩き方 ポルトガルに接近！2

■ 2023 年 9 月 30 日～ 10 月 29 日

昨年のジョゼ・サラマーゴに続く「ポルトガルに接近！」シリーズ第 2 弾。ポルトガルの国民的詩人フェルナンド・ペソア生誕 135 年、ポルトガル人が種子島に到着し日本人との交流を始めた 1543 年から 480 周年の 2 つのトピックから着想し、「ペソア」「ポルトガル」のほか、ペソアの影響を大いに受けたイタリアの作家「アントニオ・タブッキ」、戦国時代の日本に滞在し『日本史』などの著作を残したポルトガルのカトリック宣教師「ルイス・フロイス」をキーワードとした本と、ポルトガル大使館協力のもと作成したペソアを紹介するパネルを展示しました。関連イベントはペソア作品の解説のほか、音楽をバックにポルトガル語でペソアの詩の朗読を聴くというもの。普段あまり聞くことのないポルトガル語を生で味わう貴重な機会になりました。



関連イベント

■ 10 月 29 日

「フェルナンド・ペソアと異名者～ペソアの世界を読み解く朗読とトーク」

○ 泉鏡花生誕 150 年 鏡花と人、幻想文学

■ 2023 年 11 月 1 日～ 11 月 29 日

近代日本文学を代表する作家の一人、泉鏡花。著作や研究書はもちろん、鏡花の交友関係や幻想文学、近年の泉鏡花文学賞受賞作などで構成しました。鏡花存命時に出版された本も所蔵があり、普段は書庫で眠っている本を改めて紹介する機会になりました。展示を組み立てる際に核になったのは『鏡花の家：泉鏡花生誕一五〇年記念』（泉鏡花記念館、泉鏡花研究会監修・編著、平凡社、2023/10）。写真も豊富に収録されており、鏡花を作品からも、人生からも知ることができる 1 冊です。



(藤本 明希子・須山 友季)

○ 奈良県立美術館特別展「エドワード・ゴッリーを巡る旅」[関連図書企画展]

ゴッリーの世界へ飛び込む——ゴッゴッリー

■ 2024 年 8 月 31 日～11 月 10 日

県文化施設 4 館連携のひとつとして、県立美術館特別展の関連図書企画展を実施しました。ゴッリーの著作のみならず、ゴッリーが愛し影響を受けた「東西の美術」「源氏物語」などゴッリーを取り巻く文化について、関連本と共に紹介しました。

関連イベント「エドワード・ゴッリー氏の頭の中を覗くー東西の美術を中心にー」では、美術館の担当学芸員を講師に迎え、東西の美術史を手がかりに、不思議で謎めいた雰囲気のコッリー作品についてお話していただきました。美術館でのイベント「司書の読み、学芸員の眼——コッリー深掘りゴリゴリコッリー」では、司書が美術館へ出向き、コッリーの絵だけでなく、テキストや装丁にも言及しながら美術館学芸員と対談しました。今後も文化施設同士の連携により、双方の来館者に、それぞれの魅力を伝えていけたらと思います。

(八木 美帆)



美術館でのイベントの様子



■ 関連トークイベント

奈良県立美術館学芸員出張レクチャー

「エドワード・ゴッリー氏の頭の中を覗くー東西の美術を中心にー」 開催日 : 2024 年 9 月 29 日 (日)

講師 : 村上 かれん 氏 (奈良県立美術館学芸員)

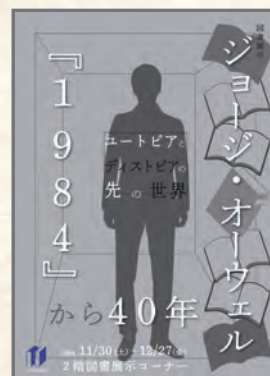
○ ジョージ・オーウェル 『1984』 から 40 年 ユートピアとディストピアの先の世界

■ 2024 年 11 月 30 日～12 月 27 日

ジョージ・オーウェルが描いた全体主義国家が統治する『1984 年』から 40 年。ディストピア文学は社会情勢の変化を反映し、今なお人気のあるジャンルです。私たちの社会はフィクションで描かれ続けているディストピア社会からどれほど異なっているのか、ユートピアとは、理想の社会とはどのようなものか？オーウェルの著作をはじめ、古今東西のディストピア小説やディストピア文学研究、批評に関する資料はもとより、ユートピア思想についての資料、ファシズムや独裁国家、管理社会など現実の国家システムを考える書籍も展示し、文学と社会の距離について考えるきっかけとなることを目指しました。

また、トークイベントではさらに一歩踏み込み、書店や本を通して、ディストピアやユートピアといった概念と私たちの社会について講演していただきました。

(松田 志織)



■ 関連トークイベント

「ディストピア文学のある世界を生きる」

開催日 : 2024 年 12 月 7 日 (土)

講師 : 関口 竜平 氏 (本屋 lighthouse 店主)

○ 本棚を旅する

■ 2025 年 1 月 5 日～ 1 月 30 日

多くの図書館ではNDC（日本十進分類法）をもとに本を分類し棚に並べています。NDC ではジャンルごとに番号が定められており、そのため図書館では本がジャンルごとに並びます。展示では、そのNDC に焦点を当てた当館の note 記事「本棚を旅する」をもとに、幅広いジャンルの本を用意しました。図書館では本がどんな風に並べられているのを知り、普段出会わない分野の本に出会うきっかけになったのではないのでしょうか。note 記事は現在も公開中です。記事を片手に、これからも本棚を旅していただけたらと思います。

（須山 友季）



○ カフカ、チェーホフ、安部公房 — ならべて、ながめて

■ 2025 年 2 月 1 日～ 3 月 27 日

2024 年、チェコ出身の小説家カフカは没後 100 年を、ロシア出身の小説家・劇作家チェーホフは没後 120 年を、日本の小説家・劇作家安部公房は生誕 100 年をそれぞれ迎えました。

カフカとチェーホフには「短篇」、チェーホフと安部公房には「戯曲」、安部公房とカフカには「不条理」という共通点があります。それぞれの著作・評論等のほか「チェコ」「ロシア」「戦後の日本を知る本」「彼らの共通点」に焦点を当てた本を展示しました。



この図書企画展に関連して、カフカを読んだことがある方もない方も一緒に「手にとり、ひらいて」新しい視点でカフカを楽しむイベントを開催しました。

また、SNS 企画として『チェーホフ全集』（再訂版、中央公論社）所収の作品から、印象的な文を紹介した、# チェーホフルリエートカ も行いました。

（松田 志織・柏木 徳子）

■ 関連トークイベント

「カフカを、手にとり、ひらいてみる」

開催日：2025 年 3 月 1 日（土）

講師：小松 紀子 氏（奈良女子大学非常勤講師）、林 寄 伸二 氏（京都大学非常勤講師）

○ BOOK, TRAIL 本を通じてきく、あなたの旅の話 Vol.3

■ 2023 年 8 月 11 日～ 8 月 13 日

8/11
ホスト

西村 佳哲 (リビングワールド)
友廣 裕一 (シーベジタブル)
乾 聡一郎 (奈良県立図書情報館)



8/12

ゲスト
松崎 太 (ベッカライ・ビオプロト)
久保田 翠 (クリエイティブサポートレッツ)
松枝 展弘 (良品計画)



8 月 12 日

撮影：大越はじめ

8/13

ゲスト
大高 健志 (Motion gallery)
植本 一子 (写真家)
大西 麻貴 (o+h)



8 月 13 日

撮影：大越はじめ

2022 年から実施してきた、本を通じて「なにを感じたり考えてきたか」「どこへ向かいつつあるのか」を語り合うトークプログラムの、最終回を開催しました。今回は、忘れることが出来ない「現在の自分につながる本」、まだ読んでいないけど目にとまる「なぜか気になる本」の 2 冊をホスト・ゲスト・参加者全員が持ち寄りました。ゲストやホストのお話を聞き、どう感じたか、自分にとって持参した本がどんな意味を持つのかを語り合う 3 日間。初日はホスト 3 人によるトークセッション、2 日目と 3 日目はゲストを 3 人ずつ加えてのクロストークで、両日とも約 10 時間にわたる長丁場でしたが、本を通じて一人一人が目の前の他者だけでなく、自分自身とも向き合う濃密な時間となりました。

参加者が感じたこと、
考えたことを書いた付箋を眺める



撮影：大越はじめ

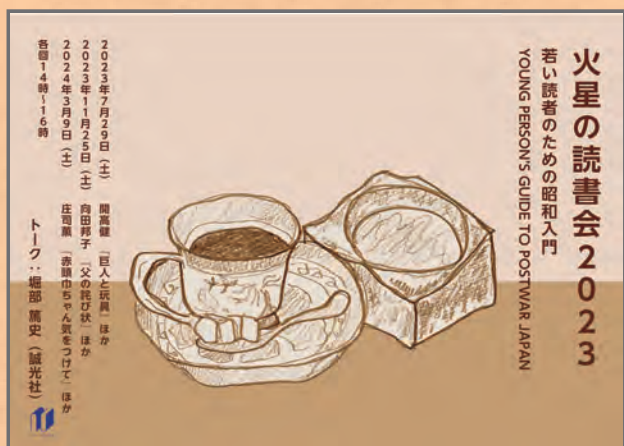
(藤本 明希子)

○ 火星の読書会

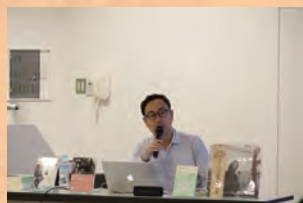
京都の書店・誠光社店主、堀部篤史さんをコーディネーターにお迎えした全3回のブックトーク形式のイベントを開催しました。

2023年度 「若い読者のための昭和入門」

開催日：第1回 7/29
第2回 11/25
第3回 3/9



2023年度のテーマは「若い読者のための昭和入門」。開高健の『巨人と玩具』や向田邦子の『父の詫び状』などを出発点に、昭和の文化に触れていきました。どの回も1冊の本から広がっていくつながり——例えば第3回では庄司薫の『赤ずきんちゃん気をつけて』の文体にまつわる話からはじまり、そこからうかがうことのできる当時の情勢などへ——を味わうことができました。



堀部 篤史さん



第1回の紹介本

2024年度 「アート」

開催日：第1回 9/28
第2回 11/9
第3回 3/22



2024年度はアートをテーマに、ビジュアルブックの「読み方」「楽しみ方」を紹介していただきました。歴史とともにそこに込められた意味が変化してきたアート。普段触れる機会の少ない写真集やデザイン書、アートブックを起点に、過去から現代へと続いてきたアートの意味を考えるきっかけとなりました。



今後も本の紹介だけにとどまらない、その先に広がる様々な事象を知るきっかけになるイベントを企画していきます。

○ 映画「肩を寄せあって」(横田丈実監督)上映会

■ 上映会・監督ミニトーク：2024年1月21日

■ 関連図書企画展：2024年1月10日～1月30日

かつて開催された、ある小さな町の映画上映会に集まった男女20人のその後を訪ねたドキュメンタリー映画「肩を寄せあって」の上映会を開催しました。20人の中にはすでに亡くられた人も、元気な人も。生きている人が亡くなった人のことを語ることで、生者も死者も関係なく肩を寄せあっているような、不思議な映画でした。関連図書企画展「ともに生き、亡くなってゆく」では「ケアすること・されること」



をキーワードに、ケアとは何かに迫る本を展示しました。また、映画にたくさん登場する「遺された人が亡くなった人について語り合う」シーンのように、家族や身近な人が故人のことを綴った本も並べました。



(藤本 明希子・須山 友季)

○ 図書企画展「ラジオが放送されて100年目」関連企画

映画「ラジオ下神白」上映 (小森はるか監督)

■ 上映会・監督アフタートーク：2025年3月20日

■ 図書企画展：2025年3月18日～4月29日

1925年3月22日朝9時30分に社団法人東京放送局より日本初のラジオ放送が発せられてから、2025年でちょうど100年。これに合わせて、様々な変化をしつつも、いまだ現役のメディアであるラジオについて、様々な角度から考える図書企画展を開催しました。

この図書企画展に関連して、2016年から福島県復興公営住宅・下神白団地で行われてきた被災地支援活動、プロジェクト「ラジオ下神白」を追ったドキュメンタリー映画を上映しました。

小森はるか監督によるアフタートークでは、下神白団地で、ラジオ番組風のCDを届けることを中心とする支援活動を行ってきた同プロジェクトの詳しい内容や映画を撮ることになった経緯、COVID-19がこのプロジェクトに与えた影響などをお話いただきました。会場から多くの質問があがり、ラジオを含めた音声メディアの力を、支援という側面から考える場となりました。



(山崎 純)

当館では、明治時代から現在にいたる公文書、江戸時代の古文書や絵図などを多く所蔵しています。これらの貴重な資料を公開した 2023 ～ 2024 年度の展示をご紹介します。

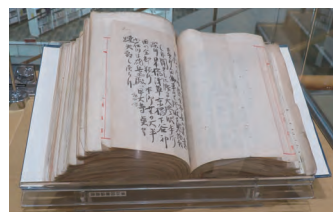
2023 年度

関東大震災 100 年 奈良県理事官が見た帝都



1923 年 9 月 1 日、午前 11 時 58 分、マグニチュード 7.9 と推定される巨大地震が関東地方を襲いました。関東大震災です。奈良県では被災地救援のため、職員 6 名と医師・看護師等救護班 4 名を東京に派遣しました。9 月 4 日、東京に上陸した派遣団が目にしたのは、変わり果てた帝都の姿と想像を超える惨状でした。

震災から 100 年の節目となった 2023 年。関東大震災を知り、学び、考える機会となるよう、派遣された理事官が綴った被災地の状況を伝える手紙とともに、救援物資募集の公文書、当時の新聞・雑誌などを展示しました。



理事官からの手紙
(奈良県庁文書)

毎年 3 月 1 日から 14 日まで行われる東大寺の修二会は、一般的に「お水取り」の名で知られています。奈良に春を告げるともいわれるこの行事は、1270 有余年、一度も絶えることなく続けられてきました。



南都名所集

2023 年度は「二月堂お水とり絵図」や「大和名所図会」、画家・杉本健吉が描き東大寺 206 世別当の上司海雲が解説を付した「修二会画帖」などを公開。奈良時代から続く儀礼の魅力を紹介しました。



二月堂お水とり絵図

東大寺修二会
天平から引き継がれる
「不退の行法」

戦争体験文庫展示

戦争体験文庫コーナーでは常時資料を展示しています。



空への憧れ～ある戦死飛行兵の資料から

昭和戦前期、多くの少年たちが空に憧れました。現山添村に生まれ、陸軍の少年飛行兵課程を経て念願のパイロットとなり、フィリピンで戦死した飛行兵の足跡と心の軌跡をアルバム・日誌・手紙等からたどりました。



銃後の守～吐田郷村出征軍人家族の会の記録から

武運長久祈願等を目的に、自主的に作られた吐田郷村（現御所市）の家族の会。昭和 12 年から終戦の年まで綴られた会の記録 3 冊には、出征兵の送り出し、戦死者が出た際の対応等が綴られ、戦況の推移に応じて記録の内容にも変化が見られます。3 冊の記録を 3 回に渡って紹介しました。



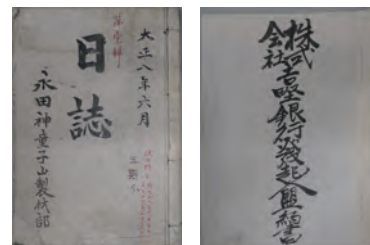
永田家文書 と その世界



下市札



吉野郡下市の林業家、永田家に遺された近世・近代の250年にわたる永田家文書。目録では1万2千点以上を数えます。展示では、林業だけではなく、銀行や鉄道など永田家の事業経営を中心にご紹介しました。



聖武天皇即位1300年記念 聖武天皇

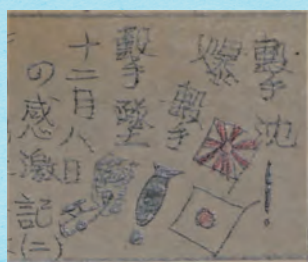
聖武天皇の即位（724年）から1300年を記念して、当館所蔵の古典籍で聖武天皇の事績を紹介しました。また、古文書や絵図、公文書などを通して、天皇ゆかりの正倉院宝物や東大寺の大仏、平城宮跡が守り伝えられてきた歴史をたどりしました。



戦争体験文庫展示

二商森田君の『わが家の新聞』1940-42

教育実践家野村芳太郎が『少年倶楽部』で展開した呼びかけに応え、京都市立第二商業学校の生徒であった森田茂彦は、約2年半、28号分の「わが家の新聞」を手書きして、周辺に配っていました。その紙面から、戦時期の少年の生活と関心を読み解きました。



満洲への勤労奉仕

1939年、「興亜青年勤労報国隊」が組織され、全国から4000人以上の青年が満洲に赴き、約100日の開拓団援助の労働を行いました。奈良県からも3小隊約100人が参加し、帰国後、記録文集『興陽』『聖汗録』『浄魂』を発行しています。関連資料とともに、この3冊をご紹介します。



2025年3月1日（土）～6月26日（木）

オンラインコンテンツ



図書館とはどんなところなのか、何ができるところなのか。より当館を知るきっかけになれば、様々な形で情報発信を行っています。オンラインを通してさらに図書館を有効活用していただければと思います。各 QR コードから是非アクセスしてみてください。

note「本棚を旅する」

来館された方から「この分野の本はどこにありますか？」という質問をいただくことがあります。当館では本を分野ごとに並べており、note「本棚を旅する」は毎回1つの分類に焦点をあて、そこにどんな本が並んでいるのかを紹介する記事です。図書館で本を探す手がかりや、新しい本と出会うきっかけになれば幸いです。



公式 YouTube コンテンツの充実

当館公式 YouTube チャンネルに新しい動画を追加しました。世界のブックデザイン展や修二会に関する展示の動画を公開しています。今後も展示の紹介動画やイベントに関連する動画などを増やしていく予定ですので、ぜひご覧ください。



レファレンス協同データベース

2022 年度から本格的に国立国会図書館レファレンス協同データベース（通称：レファ協）への登録を行い、2023年度に公開事例数が 200 件を超えました。レファレンスとは、図書館員が蔵書を用いて疑問にお答えしたり、資料を探すお手伝いをするサービスのことです。レファ協には全国の図書館等のレファレンスの記録が登録されており、当館は奈良県や当館の特徴の一つである戦争体験文庫に関するレファレンス事例を中心に公開しています。所蔵資料や情報を探し出す一つのツールとして活用していただければと思います。



当館が登録しているレファレンス事例

デジタル利用者カード

2024 年 3 月からデジタル利用者カードのサービスを開始しました。当館の利用登録さえあれば、利用者カードを持ち歩かなくても、お手持ちのスマートフォンの画面に表示させることで貸出などをすることができます。マイライブラリに申し込みいただいている方であれば、どなたでもご利用いただけるサービスですので、ぜひご活用ください。



(須山 友季)

図書情報館 設備のリニューアル 2023・2024 年度

正面玄関の段差を 解消しました

正面玄関の軒下部のタイルを引き直し、段差を解消する修繕を行いました。

防火シャッター設備を 更新しました

古くなっていた防火シャッター設備の更新を行いました。

駐車場内外の 路面標示を 塗装し直しました

館駐車場内外の標示塗装の補修を行いました。



駐車場の路面標示

オーディオ・ビジュアル セミナールームの AV 設備が あたらしくなりました

昨年度の交流ホールに続き、セミナールームの AV 設備をリニューアルしました。AV ミキサーをあたらしくして、マイク、スピーカーの音量調整が簡単にできるよう、ケーブルを整理しました。



セミナールームの AV 機器

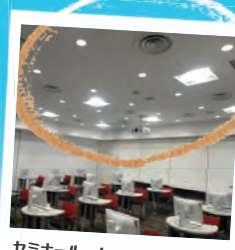
館内外照明の LED 化を行いました

毎年、故障した照明を中心に LED 化を進めています。2023 年度は、セミナールーム、交流ホールのダウンライト、駐車場のモールライトの他、ポンベ室、ドライピット等バックヤードの照明の LED 化を行いました。

2024 年度は、交流ホールのスクエア照明、2 階正面入口の風除室内照明、3 階一般資料スペース及び専門資料スペースの間接照明、駐車場と屋外エントランスモールライト、バス停とブックポスト前スポットライトの LED 化を行いました。



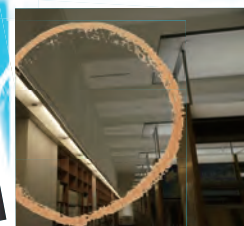
駐車場のモールライト



セミナールーム



ブックポスト前スポットライト



閲覧スペース間接照明

空調設備を 更新しました

空調設備である冷温水発生機を更新しました。

トイレを 入れ替えました

古くなっていた洋式シャフトトイレを入替しました。

点字ブロックの 修繕をしました

剥がれていた 2 階西側エレベーター前の点字ブロックを修繕しました。

ベランダの 修繕をしました。

2 階外側にあるベランダのワイヤーを修繕しました。

2023年度の イベントと 展示

4月



さくらマルシェ 4/1 (土) 2 (日)



ひまわり美術部展 WAKU WAKU ART 4/1 (土) ~ 16 (日) 奈良県磯城郡三宅町にある障がい者福祉施設「ひまわりの家」メンバーによる作品展を開催しました。あわせてトークイベント「日常のなかの美術部 ~ WAKU WAKU ART が生まれる場所 ~」(4/16)を行いました。

映像作家保山耕一
常設上映『佐保川の桜』4/1 (土) ~ 27 (木)



5月

図書館学校 令和5
年度第1期開校記念
講座「庭園の歴史—
自然のまなざし—」
5/10 (水) <講師>
千田 稔 図書館情報
館長



図書館劇場 XVIII 第
1幕 5/28 (日) <プ
ログラム> 映像詩
保山耕一、講演①「神
功皇后紀を読む」千
田 稔 図書館情報館
長、朗読 都築由美、講
演②「藤原京の造営
と景観」竹田政敬
(権原市世界遺産登
録推進課副統括)



映像作家保山耕一
常設上映『春日大
社の 藤・2023』
4/29 (土) ~ 5/30
(火)



図書館学校 令和5年度第1期5~6月<講師>国語
I 浅田隆、社会 今尾文昭、国語II 横原聡、理科
井阪秀高

6月

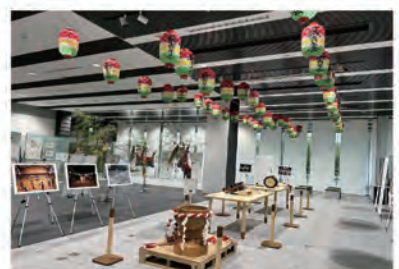


映像作家保山耕一常設上映『初夏の色彩・2023』6/1
(木) ~ 29 (木)

7月



十津川村の盆踊り 7/1 (土) ~ 17 (月祝) 2022年
11月、国連教育科学文化機関(ユネスコ)が「十津
川の大踊り」を含む24都府県41件の民俗芸能「風流
踊り」を無形文化遺産に登録したことを記念し開催し
ました。あわせて図書展示「風流踊りの世界」(7/1~
17)、「十津川村の盆踊りを習う」(7/8)、「十津川村
の盆踊り 特別鑑賞会&講演会」(7/15)を行いました。



企画展「十津川村の盆踊り」展示の様子



図書館劇場 XVIII 第2幕 7/23 (日) <プログラム>
映像詩 保山耕一、講演①「初瀬川の古代史—雄略天
皇と天武天皇—」千田 稔 図書館情報館長、朗読 都
築由美、講演②「明治期奈良県の名勝写真帖編さん」
三木理史 (奈良大学文学部地理学科教授)



映像作家 保山耕一 常設上映『十津川村果無集落』2023年5月/7/1(土)～27(木)

8月



千光士義和 ダンボールアートの世界 8/1(火)～20(日)『動くダンボール』作家&アニメーション作家 千光士義和さんの作品展を開催しました。あわせて「トーク&ワークショップ『発想は無限(私の発想法! 原点はアニメ・まんが)』(8/19)、「ワークショップ『動くハコロボとミニロボ』を作ろう!」(8/19&20)を行いました。



映像作家 保山耕一 常設上映『平城宮跡・夏』7/29(土)～8/30(水)

9月

図書館学校
令和5年度第
2期開校記念
講座「歴史
の中の植物」
9/6(水)<講
師>千田 稔
図書情報館長



図書館学校 令和5年度第2期9～10月 <講師>国語Ⅰ 浅田隆、社会 今尾文昭、国語Ⅱ 榎原聡、理科 井阪秀高



なら・図書館に集う会「講演会 大安寺の365日」9/18(月祝)<講師>大安寺副住職 河野裕韶 主催:なら・図書館に集う会



図書館劇場 XVIII 第3幕9/24(日) <プログラム>映像詩 保山耕一、講演①「平城京の外京を考える」千田稔 図書情報館長、朗読 都築由美、講演②「江戸時代の雅楽と南部の楽人たち」山田 淳平

10月



映像作家 保山耕一 常設上映『雨、水、虹』9/1(金)～28(木)



たなか しん 絵本原画展 10/3(火)～22(日)『どうぶつはいはい』(金の星社 2023年)をはじめ、既刊絵本の原画 40点以上を展示しました。あわせてトーク「作家と編集者、本ができるまで」(10/21)を開催しました。



映像作家 保山耕一 常設上映『夏の果』9/30(土)～10/29(日)



11月

第12回大安寺国際縁日 11/3(金) 大安寺(奈良市)境内にて開催されたイベントに、「出張図書情報館」と題し、大安寺などにまつわる書籍の貸し出しを行いました。



秋、みのりのマルシェ 11/4(土) 5(日)



図書館劇場 XVIII 第4幕 11/26(日) <プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「平城京都と長岡遷都—王権のヤマト離脱—」千田稔 図書情報館長、朗読 都築由美、講演②「日本霊異記」の行基説話 千本英史 (奈良女子大学名誉教授)



映像作家 保山耕一 常設上映『月の秋』11/1(水)～29(水)

12月



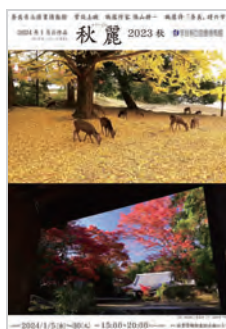
本棚でつながるクリスマスマーケット 12/9(土) 10(日)

映像作家 保山耕一 常設上映『秋の灯り』 12/1(金)～27(水)



1月

映像作家 保山耕一 常設上映『秋麗 2023 秋』1/5(金)～30(火)



2023 年度子ども能楽教室 能楽のお囃子「大鼓(おおつづみ)」のお稽古をしてみよう～発表会 1/13(土) プロの能楽師が、囃子の道具「大鼓」「笛」の稽古を行う教室。9月から2回の稽古に励んだ成果を子ども達が発表しました。



図書館劇場 XVIII 第5幕 1/28(日) <プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「春日権現験記絵」を読み解く 千田稔 図書情報館長、朗読 都築由美、講演②「田山花袋と紀行文—明治38年の奈良への旅を中心に」光石亜由美 (奈良大学教授)

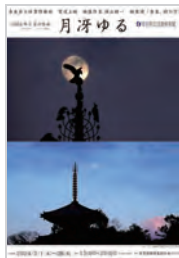
2月

図書館学校 令和5年度第3期開校記念 講座「歴史の中の日本地図」2/14(水) <講師>千田稔 図書情報館長



美しい手製本の世界 中尾エイコ・中尾あむ 2/14(水)～25(日) 手作業で作られる本「手製本」作家の作品展。あわせて「ギャラリートーク&デモンストレーション」(2/17&23)、「トーク「工芸製本家の仕事」」(2/25)を行いました。

映像作家 保山耕一 常設上映
『月冴ゆる』2/1(木)～28(水)

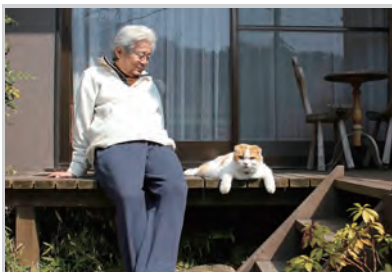


3月

奈良県立図書情報館 常設上映 映像作家 保山耕一 映像詩「奈良、時の中」
2024年3月の作品 あかい若草山 奈良県立図書情報館



映像作家 保山耕一 常設上映 『あかい若草山』3/1(金)～28(木)



『まると養老先生』ことばと写真展 3/5(火)～17(日)
解剖学者・養老孟司さんの愛猫まると養老先生の18年間をまとめた著書『まるとありがとう』から、養老先生のことばと、秘書の平井玲子さんが撮影した、まるとの写真を展示。あわせて「養老孟司講演会」(3/9)を開催しました。



図書・企画展「ねこちゃん」+ミニ展示「大和の画家・榎森彰子の『ねこ』展」3/5(火)～17(日) 当館が所蔵する「ねこ本」500冊超を一挙紹介。あわせて大和を描く画家・榎森彰子の「ねこ画」展を開催しました。

第26回日本自費出版文化賞入選・入賞作品展 3/19(火)～28(木) 2023年に開催された「第26回日本自費出版文化賞」への応募総数658点の中から二次審査を経て選出された71点の選候補作品より、最終選考を経て選ばれた大賞1点、部門賞7点、特別賞7点、入選56点と、歴代の大賞受賞作品を展示しました。あわせて「第26回日本自費出版文化賞大賞受賞『墨に五彩あり―墨の不思議な魅力―』著者 綿谷正之講演会」(3/20)を開催しました。



図書館劇場 XVIII 第6幕 3/24(日) <プログラム>映像詩 保山耕一、講演①「平安時代の和紀行―天皇・上皇・貴族たちの旅路」千田稔 図書情報館長、朗読 都築由美、講演②「古代の女帝たち～なぜ女帝は登場したのか～」瀧浪貞子(京都女子大学名誉教授)



キネティックアートな3人 井村隆 遠藤賢治 千光士義和 3/30～4/21 「キネティックアート」は「動き」を取り入れた芸術作品の総称。キネティックアートの第一人者・井村隆と、井村への憧れからキネティックアーティストへの道を歩んだ遠藤賢治と千光士義和、3人の作品展を開催しました。あわせて、トーク「キネティックアーティスト 井村隆の仕事」(4/14)を行いました。

通年

佐保川まちづくり塾 2023年度パソコン教室 共催：奈良県立図書情報館、NPO法人奈良シニアIT振興会

ITサポートデイ 図書情報館のIT機器利用への質問や、パソコンビギナーの操作への疑問に、ボランティアスタッフ「奈良県立図書情報館 ITサポーター」が答えする取り組み。参加＆相談無料。

法務無料相談会&知識セミナー 毎月1回開催。相続・遺言など法務相談として興味を集める事例をテーマに知識セミナーを開催しました。参加無料。

中小企業診断士による体験学習会&無料経営相談会 体験学習会では、問題分析や解決の手法などについてレクチャー。2023年度は5、6、7、11、12月に行いました。参加＆相談無料。1/14[日]には「起業家交流会」を行いました。

日本弁理士会近畿支部奈良地区会による知的財産講座&無料相談会 産業財産権の取得、著作権、地理的表示の登録申請、知的財産に関する相談に弁理士が対応する無料相談会を6/10[土]・12/9[土]開催しました。参加＆相談無料。8/26[土]には「夏休みこども工作教室 磁石であそぼう!」を行いました。

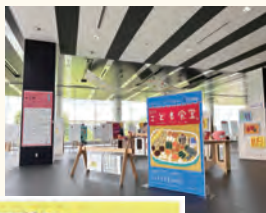
FP(ファイナンシャル・プランナー)によるくらしとお金のセミナー 日本FP協会奈良支部が主催。今年度は7/1[土]・12/16[土]に開催しました。参加無料。

(文中敬称略)





ならのこども食堂展+たんぽぽの家アーティストの「おいしい絵」7/17(水)～30(火)
地域の大人たちによる、こどもを真ん中にした居場所をつくる取り組み「こども食堂」を紹介。本展では、県内のこども食堂の活動紹介や、たんぽぽの家所属の障がいのあるアーティストが描いた食べ物にまつわるアート作品と、こども食堂運営者のナマの声を紹介。



図書館劇場 XIX 第2幕 7/28(日)
映像詩「奈良、時の雫」より 保山耕一(映像作家)
講演1「京都の設計と南山」千田稔(図書情報館長)
朗読 都築由美(フリーアナウンサー)
講演2「『万葉集』の宮都歌」井上さやか(奈良県立万葉文化館企画・研究係長)

8月

映像作家 保山耕一
常設上映『ツバメのねぐら入り』2024/8/1(木)～29(木)



マスダケイコ絵本原画展
8/6(火)～18(日)
奈良出身の作家 マスダケイコ絵本原画展。代表作『ぼく、ニホンオオカミになる!!』ほか合計5作品約80点を展示。会期中「朗読劇『列車にのった阿修羅さん土蔵に疎開してきた国宝』と「ワークショップ『きんぎょくじら』をつくろう」を開催。

9月

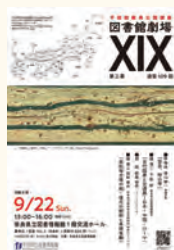
学び直し講座 図書館学校 令和6年度第2期 9～10月<講師>国語 I 木田隆文、社会 今尾文昭、国語 II 樺原聰、理科 井阪秀高



学び直し講座 図書館学校 令和5年度第2期 開校記念講座「みんなでいっしょに新しい地政学入門 県立図書情報館所蔵の戦争体験文庫も参考に 第二回 日清戦争と正岡子規 - 司馬遼太郎『坂の上の雲』にも触れて」9/4(水)
講師 千田稔 図書情報館長



図書館劇場 XIX 第3幕 9/22(日)
映像詩「奈良、時の雫」より 保山耕一(映像作家)
講演1「古代国家と交通路ー日本・中国・ローマ」千田稔(図書情報館長)
朗読 都築由美(フリーアナウンサー)
講演2「高松塚古墳の棺(ひつぎ)～復元の根拠と再現実験」岡林孝作(奈良県立橿原考古学研究所学術アドバイザー)



映像作家 保山耕一
常設上映『祈りの風景・夏』8/31(土)～9/26(木)

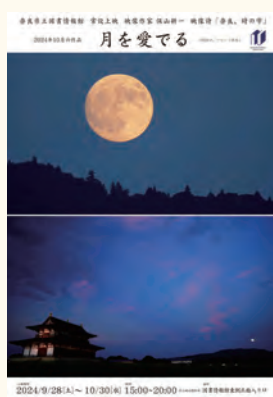


10月



INTO ANIMATION 8 in NARA(イントゥ・アニメーション エイト イン NARA) 10/8(火)～20(日)
国立新美術館(東京)で2023年8月に開催された日本アニメーション協会(JAA)会員による上映会「イントゥ・アニメーション8」初の巡回展。日本および世界で活躍するアニメーション作家の制作風景などを展示。会期中、アニメーション上映会を開催。

映像作家 保山耕一
常設上映『月を愛でる』9/28(土)～10/30(水)



11月



第12回大安寺国際縁日 11/3(日)
大安寺(奈良市) 境内にて開催されたイベントに「出張図書情報館」として参加。大安寺などにまつわる書籍の貸し出しを行いました。

ブックマーケット+しおりのマーケット 11/9(土) 10(日)



令和6年 11/24 Sun. 13:00~16:00 (開場 12:00)
奈良県立図書情報館 1階 交流ホール
観覧料：大人 100円 / 小学生以下 50円 (1人)
※観覧料は当日現金で、当日券は発行しません。
主催：奈良県立図書情報館

図書館劇場 XIX 第4幕 11/24(日)
映像詩「奈良、時の雫」より 保山耕一 (映像作家)
講演1 「聖武天皇と聖徳太子—奈良時代の太子信仰—」
千田 稔 (図書情報館長)
朗読 都築 由美 (フリーアナウンサー)
講演2 「正倉院に伝わる聖武天皇の袈裟に込めた祈り」
牟田口章人 (塚原山大学文学部客員教授)



映像作家 保山耕一 常設上映『10月の色』11/1(金)~28(木)

12月



クリスマスマーケット 12/7(土) 8(日)



映像作家 保山耕一 常設上映『春日若宮おん祭』11/30(土)~12/27(金)

1月

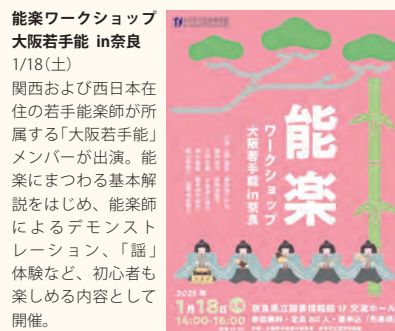
映像作家 保山耕一 常設上映『映像詩十二月の色』1/5(日)~30(木)



2024年度子ども能楽教室 能楽のお囃子「大鼓と笛」のお稽古をしてみよう~発表会 1/13(月)
プロとして活躍中の能楽師が、お囃子の道具「大鼓」「笛」の稽古を行う教室を9月から開催。子どもたちが演奏を披露しました。



防災学習会「地震に備えよう! ~正しい知識と行動が命を救う~」 1/16(木)
奈良地方気象台による防災学習会。第1部講演会では奈良地方気象台の南海トラフ地震防災官が地震に対する防災意識を高める解説を。第2部図書紹介では、奈良地方気象台の土砂災害気象官と図書情報館職員が、気象庁が作成している刊行物や地震・防災に関する図書を紹介しました。



[illegible]

図書館劇場 XIX 第 5 幕 1/26 (日)

映像詩 保山 耕一 (映像作家)「奈良、時の雫」

講演①「気候変化と日本の歴史—特に唐古・鍵遺跡と纏
向遺跡の立地について—」 千田 稔 (図書情報館長)

朗読 都築 由美 (フリーアナウンサー)

講演②「聖林寺 国宝 十一年観音—奈良時代から令和の
時代に続く—」 倉本 明佳 (聖林寺住持職)

2月

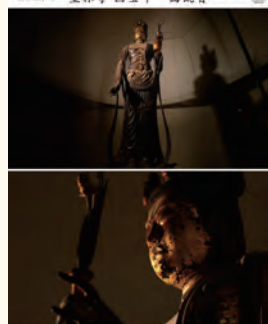
図書館学校 令和 6 年度 第
3 期 2 月～3 月
＜講師＞国語Ⅰ 光石亜由
美、社会 今尾文昭、国語
Ⅱ 樺原聡、理科 井阪秀高



学び直し講座 図書館学校
令和6年度第3期開校記念講
座「みんなでいっしょに新し
い地政学入門 県立図書情
報館所蔵の戦争体験文庫も
参考に 第3回 日露戦争
—国家と国民—」1/22(水)
講師 千田稔 図書館情報館長



映像作家保山
耕一常設上映
『聖林寺国宝十
一面観音』 2/1
(土)~27 (木)



岡田よしたか展 とくべつ協力 瀬尾まいこ 2/11(火)
～27(木)

奈良在住の絵本作家 岡田よしたかさんの作品展。代表作『うどのうーやん』『ちくわのわーさん』などの絵本20作の原画と未発表 1作を展覧。岡田作品の大ファンで奈良在住の小説家 瀬尾まいこさんが『うどのうーやん』などをテーマに書き下ろしたエッセイを特別展示。会期中、岡田さんによるおはなし会と、岡田さん瀬尾さんのトークイベントを開催しました。



能楽ワキ方三流競演 2/24(月)
能楽界におけるトップクラスのワキ方能役者が登場。流儀の違いや役割、装束についてレクチャーしました。

3月

映像作家 保山耕一 常設上映『火の華、雪の華』 3/1(土)~27(木)



なら・図書館に集
う会「笑い飯 哲夫
がんばらない教育
スペシャルト
ーク!!」 3/11(火)
格安補習塾を経営
する笑い飯・哲夫
氏が画期的子育て
を説くエッセイ『が
んばらない教育』
(扶桑社)を軸に「が
んばらない教育 ス
ペシャルトーク !!」
を開催。



千原しのぶ 長谷川裕見子
図書館劇場
XIX
 第六幕 通算112回

全7年
3/23 Sun.

13:00~16:00 (座席12,000)
 奈良国立図書情報館・阪交通市一ル
 奈良県立図書情報館・阪交通市一ル
 生保 / 芝生 150人 (休演) / 演代付 500人 (1人)

生保 / 芝生 150人 (休演) / 演代付 500人 (1人)

【出演】 保山 一樹 主演
 【共演】 杉本 有美
 【演出】 中野 浩二
 【監修】 中野 浩二
 【脚本】 山田 周
 山下 周
 山田 周
 千原 しのぶ
 長谷川 裕見子
 千原 しのぶ 長谷川 裕見子
 【上演】 千原しのぶ 長谷川裕見子
 【上演】 千原しのぶ 長谷川裕見子

LIVE

YouTube
 千原しのぶ 長谷川裕見子
 図書館劇場
 ライブ配信



図書館劇場 XVIII 第6幕 3/23(日)

映像詩 保山 耕一(映像作家)「奈良、時の罫」

講演①「古代飛鳥と朝鮮半島」 千田 稔(図書情報館長)

ミニトーク 山下 真 奈良県知事 × 千田 稔

朗読 都築 由美(フリーアナウンサー)

講演②「仏像修復と模刻研究から分かった『仏像解体新書』」 飯内佐斗司(東京藝術大学名誉教授、奈良県立美術館館長)



「ミニトーク 山下 真 奈良県知事 × 千田 稔」のようす

通年

佐保川まちづくり塾 2024 年度パソコン教室
IT サポートデイ
法務無料相談会 & 知識セミナー
中小企業診断士による体験学習会 & 無料経営相談会
日本弁理士会近畿支部奈良地区会による知的財産講座 &
無料相談会

(伊藤 享子)

奈良県立図書館報
(うんてい復刊) 第16-17合併号

発行日 令和 7 年 8 月 31 日
 発行人 千田 稔
 発行所 奈良県立図書館
 〒630-8135 奈良市大安寺西 1 丁目 1000
 TEL.0742-34-2111 FAX.0742-34-2777